

<b>20004 人間と哲学</b> Human and Philosophy		1 年次～ 後期 2 単位																	
担当者	中川 明博	履修可能学科	E Pe Pc C W F																
		関連資格	教職必(W)																
サブタイトル	哲学は何を、どのように、なぜ問うのか																		
授業内容 ・ ねらい	この授業のねらいは、哲学がどのような問いを提起し、どのような探究を行う学問なのかを理解することにある。何かが存在していると言える根拠は？主観を離れた事実はあるのか？など、哲学的な問いは、ふだん私たちがきわめて自明だと思っている事柄の根拠や意味をあらためて問い直す点に大きな特徴がある。そうした問いによって哲学者たちは何を明らかにしようとしているのかを実例に沿って検討していく。それを通じて根本的に考えることの大切さと楽しさを学んでもらいたい。																		
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>(1)存在の謎（何かがあると言える根拠は？）</td> <td>(9)意志の謎（意志は心の状態か？）</td> </tr> <tr> <td>(2)存在の謎（主観と客観）</td> <td>(10)意志の謎（自由意志の起源）</td> </tr> <tr> <td>(3)人格の同一性の謎（私はずっと同じ私か？）</td> <td>(11)時間の謎（過去はどこへ行ってしまったのか？）</td> </tr> <tr> <td>(4)人格の同一性の謎（同と異）</td> <td>(12)時間の謎（時間を構成する意識）</td> </tr> <tr> <td>(5)他者の謎（他者の心を理解することは可能か？）</td> <td>(13)真理の謎（何が正しいかは人によって異なるのか？）</td> </tr> <tr> <td>(6)他者の謎（心的述語の意味について）</td> <td>(14)真理の謎（対応説と整合説）</td> </tr> <tr> <td>(7)事実の謎（客観的事実とは？）</td> <td>(15)まとめと試験について</td> </tr> <tr> <td>(8)事実の謎（歴史的事実の逆説）</td> <td></td> </tr> </table>			(1)存在の謎（何かがあると言える根拠は？）	(9)意志の謎（意志は心の状態か？）	(2)存在の謎（主観と客観）	(10)意志の謎（自由意志の起源）	(3)人格の同一性の謎（私はずっと同じ私か？）	(11)時間の謎（過去はどこへ行ってしまったのか？）	(4)人格の同一性の謎（同と異）	(12)時間の謎（時間を構成する意識）	(5)他者の謎（他者の心を理解することは可能か？）	(13)真理の謎（何が正しいかは人によって異なるのか？）	(6)他者の謎（心的述語の意味について）	(14)真理の謎（対応説と整合説）	(7)事実の謎（客観的事実とは？）	(15)まとめと試験について	(8)事実の謎（歴史的事実の逆説）	
(1)存在の謎（何かがあると言える根拠は？）	(9)意志の謎（意志は心の状態か？）																		
(2)存在の謎（主観と客観）	(10)意志の謎（自由意志の起源）																		
(3)人格の同一性の謎（私はずっと同じ私か？）	(11)時間の謎（過去はどこへ行ってしまったのか？）																		
(4)人格の同一性の謎（同と異）	(12)時間の謎（時間を構成する意識）																		
(5)他者の謎（他者の心を理解することは可能か？）	(13)真理の謎（何が正しいかは人によって異なるのか？）																		
(6)他者の謎（心的述語の意味について）	(14)真理の謎（対応説と整合説）																		
(7)事実の謎（客観的事実とは？）	(15)まとめと試験について																		
(8)事実の謎（歴史的事実の逆説）																			
教科書 参考書	毎回プリントを配布し、それに沿って講義していく。 参) 野矢茂樹『哲学の謎』（講談社現代新書）																		
評価方法	学期末の試験により評価する。試験は小論文形式とし、観点の取り方、論述の密度、深さ、論理的一貫性などを総合的に評価する。																		
事前準備学習 履修条件等	特になし																		